

平成24年度
実施事業

事務事業名 登別市住宅改良促進特別融資積立金

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	3	活力ある地場産業の育成
小分類	2	安定した企業活動を支える良好な経営環境の創出
主要な施策	2	②経営基盤の強化
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 12 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	商工労政グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市内の建設業者等を活用して住宅改良を行う市民に低利の融資を行うことにより、市民の住環境の向上と地場産業の振興を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	市民が市内の建設業者等を利用して住宅の改良を行う際に、金融機関から低利で融資を受けられるよう、融資の原資となる積立金を金融機関に預託する。 【事業実績】 (資金種別及び利率) 住宅改良 1.95% バリアフリー改良 1.75%、 新エネルギー関連改良 1.75% (融資条件) 1件当たり融資限度額300万円 償還期間10年以内 (融資実績) 2件
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	市内経済の低迷が続き、需要の低下が著しいことから、市内の建築関連業者の振興を図るため、継続して実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市住宅改良促進特別融資要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	13,000	11,000	20,000	20,000	20,000
一般財源	名称	千円					
事業費 合計			13,000	11,000	20,000	20,000	20,000

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 融資申請件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3	2			
	② 融資実行件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3	2			

比較 《 Check 》

<p>平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等</p> <p>・長引く市内経済の低迷により、市内建築関連業の需要低下が著しい。</p>	<p>左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等</p> <p>・融資利用条件を市内事業者に限定することで、市内建築関連業の振興を図ることができる。</p> <p>・平成25年度より、新エネルギー関連改良の利率を引き下げることにしており、登別市住宅用太陽光発電システム設置補助金とあわせた活用が期待される。 (現行利率：1.75%、改正利率：1.20%)</p>
--	--

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である</p> <p><input type="checkbox"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である</p> <p><input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>金融機関等にも類似の融資制度があるが、当制度は融資対象者を市内の建設業者を利用し住宅の改良工事を行う者に限定していることから、市内経済の活性化に寄与すると考えられる。</p>
2. 事務事業の必要性について		
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある</p> <p><input type="checkbox"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い</p> <p><input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>一般的な住宅改良に加えて、バリアフリーや新エネルギー関連設備設置に対する低利な融資を設けることにより、社会情勢に見合った内容としている。また、利用要件として、市内事業者利用に限定している。</p>
3. 事務事業の効率性について		
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<p><input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている</p> <p><input type="checkbox"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 将来的に効率性を向上できる</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>融資の原資となる積立金を金融機関に預託し、制度を運営しているため、市の負担を伴わずに成果を挙げることができている。</p>
4. 事務事業の成果について		
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> ① 成果指標の向上が見られる</p> <p><input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる</p> <p><input type="checkbox"/> ③ 目に見える形で成果があがっている</p> <p><input type="checkbox"/> ④ 成果の把握は困難である</p>	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>広報等への周知方法の改善により、住宅の改良に係る融資の問い合わせや申し込みが増加している。</p>

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p>	<p>融資制度は市内の住宅関連業者の振興を図るために実施している事業である。近年の利用度は高くないが、景気低迷のなか市内企業の業況や雇用情勢も厳しい状況であることから、市が今後も本事業を継続する必要がある。</p>
-----------	-----------------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	<p>備考</p>	
-----------	-----------	--